

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話(78)3111(代)
印刷所 旭印刷
電話(水俣)4101番

津 奈 木



赤崎小 スバラシイ体験 『田植!!』

天気恵まれて三・四年生十七名による田植え行事が行われました。今の世は機械化時代になり、手作業が少なくなりました。

今、子供達が手植えによって昔を偲び、田植えのスバラシさ、労働の大切さ等、米余りのため減反を余儀無くされている時、この体験によってお米一粒一粒の大事なことを感じるの、大変有意義であると思います。

日本は昔から豊葦原の瑞穂の国と云われていました。その伝統を守り「おいしい」お米の有難さを十分知ってほしいものです。

子供達はよれてもよい様に水着姿で、泥にまみれて、足がぬるぬるして気持ち悪いと云いながら、結構「面白い」と楽しそうに上手に植えていました。

赤崎小 スバラシイ体験 『田植!!』

一言

真夏が近づくと毎年想い出すのが終戦の日と争議の頃のことである。いずれもいやなことばかり。なぜこんなことが浮かぶのか。今七十才を過ぎた私のライフサイクルのうちで最も印象に残っているからである。然しここで五十年前の愚痴をこぼしたところで何の役にもならない。そこでプラス思考に変えて考えて見たい。我々はこの世に生を受けた時から死に近づいて行く。死ぬ時は死ぬがよし、と日本の聖者は云った。これも好きな言葉である。願わくはそんな気持ちで死を受容できればどんなに良いであろう。年をとるとは単に老いて死を迎えるということに興味することだろうか。老いという事は色々な定義があるだろう。しかしそれがシルバエイジとか、ゴールデンエイジとかでないことは確かである。本町でも色々なライフロングエデュケーションとして、あけぼの、つわぶきセミナーのほか書道・手話・英会話など取り組んでおられる。大へん結構なことであると思う。

我々には、上手な生き方、上手な死に方があると思うが、年輩者の方ほど、残り少ない人生を、上手な死に方より上手な生き方を、考えた方がよいのではないだろうか。

(松本一朗記)

平成九年度 社会教育 団体役員紹介

津奈木小学校PTA	会長 竹田 珠一 副会長 松田 良浩 副会長 西平 絹代 書記 白坂 辰彦 監事 竹永 正 監事 鶴野 一洋 監事 林田 和幸	赤崎小学校PTA	会長 林田 昭二 副会長 藤原 審二 副会長 新立 伸哉 保体安全部長 小野田 寿 母親部長 藤原 千和 母親副部長 福田まゆみ 文化部長 岩崎 安志 顧問 犬童 昭雄	平国小学校PTA	会長 村上 磨 副会長 平野 新市 副会長 長濱 里美 文化部長 鬼塚 賢造 研修部長 濱田 義一 生活部長 濱田 幸吉 健康部長 福田 安満 整備部長 野崎 昭三 母親部長 諫山つるみ 監査 福山 耕二
津奈木中学校PTA	会長 寺本 信介 副会長 山田 豊隆 副会長 長濱 満則 副会長 諫山美保子 母親部長 福山 和枝 書記 浦口 勝也 顧問 中尾 優子 顧問 小嶋 靖令 顧問 五島 靖士 監事 宮本 清也 監事 野崎 慶司	PTA連絡協議会	会長 林田 昭二 副会長 村上 磨 副会長 諫山美保子 書記 山田 豊隆 監査 松田 良浩 監査 平野 新市	老人クラブ連合会	会長 元村 博 副会長 福山 安恵 副会長 平野 シエ 副会長 津田 良子 事務局 宮崎 兼雄 監事 坂口 義男 監事 山路 熊助

文化協会

会長 西川 裕
副会長 齊藤 宗三
副会長 鶴野 慶昭
理事長 橋口 末信
副理事長 齊藤 道子
副理事長 高見嘉司満
事務局 浜田久米男

津奈木校区婦人会

会長 齊藤 道子
副会長 西川 京子
副会長 石田ミサ子
書記 石田ミサ子
生協 塩山 順子
生協 松田ハツエ
生協 松永 玲子
顧問 千々岩順子

赤崎校区婦人会

会長 森山サツキ
副会長 高木キミ子
書記 藤原 秀代
生協 藤原 秀代
生協 林田ノブ子

平国校区婦人会

会長 上村サミ子
副会長 伊藤 信子
会計 野崎 久子

今年も
よろしく
お願いします

新図書紹介

(成人向け)
桜雨・神々の乱心(上)・運命の劇場(上)・草笛の剣(上)・アンダーグラウンド・毛利元就(上)・野火・生まれ出づる悩み・野菊の墓・友情・風立ちぬ・風の又三郎・ひめゆりの塔・あすなる物語・こころ・若い川の流る・人間失格・心にしみるいい話・いま命輝いて・気づばりのすめ十五年目
(児童向け)
子どもたちの森・だれのしわが動いた日・ことばの達人 他

庁舎美術館(72)

油彩「闘牛」一九六四 境野一之作



大地の鼓動を奮い起こし 恐怖との闘いは始まった。
あまりに残忍で悲惨な運命 そして甘美な陶酔の時間
嗚呼 神よ 我らはなぜ戦うのか
「その欲望の呪縛は
ただ欲望によってのみ 解かれる…」

毎年7月は、「社会を明るくする運動」強調月間です。

“社会を明るくする運動”はすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。
本運動についてのお問い合わせは、最寄りの保護観察所まで。(主唱 法務省)

おれい

桜戸地区の成田チエ子様から図書館へ次の図書を寄贈頂きました。「原色日本の美術(全三十二巻)・原色世界の美術(全十六巻)・日本の美術年表(外六冊)」。ありがとうございます。

お知らせ

七月二十三日(水)午前九時三〇分から文化センターで町内の小学校児童代表十二名による「児童発表大会」が実施されます。町民の皆様方のご観覧をお待ちしております。

